

第 18 回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

令和 5 年 1 月 30 日（月）午後 2 時から

2 場所

大阪市中央区難波 4 丁目 3 番 3 号
ホテルロイヤルクラシック大阪 3 階「麗・壽」

3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	田中 清剛
大阪市副市長	朝川 晋
大阪府警察本部長	野村 護
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所会頭	鳥井 信吾
関西経済同友会代表幹事	生駒 京子

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成 17 年の第一回目の会議開催以来、今回で 18 回目となります。令和 2 年度及び 3 年度は新型コロナウイルスの影響でやむなくこの協議会が中止となりましたが、今年度は、本日無事に開催されたことに関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。

さて、協議会設立当時のミナミでは、黒服を着た「カラス族」と呼ばれる風俗店の客引きが横行し、違法風俗店や無料風俗案内所の乱立、放置自転車やはみ出し看板など、様々な問題を抱えていました。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」「ミナミの街を自分たちの手で良くしていこう」という地元の熱い思いから、平成 17 年 2 月に地元商店会や地域振興会などで構成する「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立しました。また、同年 9 月には、ミナミの環境浄化・活性化のために官民一体となったオール大阪体制による「ミナミ活性化協議会」が設立され、現在に至っております。

それ以来、我々地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに掲

げ、行政・警察・経済界の皆様と連携して、夜間の合同パトロールやはみ出し看板等の解消に向けた自主規制を行ってきたほか「地域のルールづくり」にも取り組んで参りました。その結果、平成 22 年には、建築物の用途を制限した宗右衛門町地区計画条例の制定、その後、宗右衛門町通りの無電柱化と石畳化が完成しました。平成 25 年には心齋橋筋商店街において景観協定、平成 28 年には戎橋筋商店街において建築協定が締結されるなど、地元としても建物の用途について自ら制限をかけるとともに、ミナミのブランド力向上と賑わいある健全な街づくりに向けて取り組んできました。関係団体の皆様におかれましても、環境浄化とにぎわい創出に向けて、様々な対策に取り組んでいただきました。

また、現在、世界を惹きつける観光拠点として整備を進めるなんば駅前の広場化や、大阪市のメインストリートである御堂筋の道路空間再編といった車中心の空間から人中心の空間へと都市空間を再編する整備が行われており、これらはまちの活性化に寄与する取組みであり、地元としては大変感謝しております。そういう取組みが重なって 2025 年の大阪・関西万博の開催にもつながったのかなという気がいたしますし、今後ますますミナミの活性化につながるものと思っております。

本日、私からは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を代表しまして、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて」の 2 つの観点から、現状と問題提起を行い、積極的な意見交換を行いたいと思っております。

はじめに、客引き問題については、昨年 7 月に大阪府迷惑防止条例を一部改正していただき、これまで取締まりができていなかったガールズバーや深夜マッサージなどの客引き等に対する取締まりを重点的に行っていただき、最近ではガールズバーを含むコンセプトカフェの客引き行為者は減少しているものと感じます。そのほか、違法風俗店等の摘発、暴力団等の犯罪組織の取締り、「グリ下」における少年補導活動など、大阪府警全体でミナミの治安維持と環境浄化に取り組んでいただいていることに、地元といたしましても大変心強く感じており、厚く感謝申し上げます。

大阪市におかれましても、平成 26 年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、指導員の方の手厚い巡回・指導に加えて、店舗への立入調査、悪質な店舗に対する店舗名と所在地などの公表を行っていただいております。また、令和 3 年 4 月から、常習的な違反者に対しては、すぐに命令処分を行い、過料処分までのサイクルを短くするよう条例を改正していただいたり、大学生の対策として、各大学を訪問して啓発活動を行ったり、デジタルサイネージを活用して、「客引きをやらぬ・利用しない」と呼びかける動画を放映するなど、工夫を凝らした取組みをしていただき、本当にありがたく思っております。

2025 年には大阪・関西万博が開催されますが、大阪は日本の玄関口として、ますます国際都市としての役割が求められます。

大阪は、現在世界から高い評価をいただいております、世界中の様々な人たちがミナ

ミの街を訪れたとき、安心してミナミの街を歩けるような対策をしておくことが必要であると感じています。そのためには、悪質な客引き行為者を排除する必要があり、これを実現するためには、指導員の更なる権限強化のための市条例改正や指導員の増員、また、更なる取締りの強化などを検討していただきと思います。

ミナミの活性化を図るうえで、一番大事なことは、言うまでもなく多くの方々にミナミへ来ていただくことでもあります。新型コロナの感染状況も少しずつではありますが落ち着きを取り戻してきており、それに併せてインバウンドによる賑わいも戻りつつあり、アフターコロナを見据えて、国内外の観光客を受け入れる体制を作ることが大切だと考えておりますが、それには「安全・安心」がしっかりと根付いていることが非常に重要であります。

地元といたしましても、これまで以上に警察、行政と連携を図りながら、情報の共有、夜間パトロールや、違法風俗店をビルに入居させないための検討を重ね、さらには、大阪市の条例に従わず公表された悪質な店舗を広く周知するなど、まち全体として、違法な客引きを許さない気運づくりに取り組んでまいりますので、是非とも、ご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

放置自転車対策につきましては、大阪市が地元の要望を取り入れて、駐輪場附置義務条例の改正による規制緩和、撤去活動、歩道の植樹の隙間等を利用した駐輪場設置などを精力的に進めていただき、厚く感謝申し上げます。特に、夕方から夜間にかけてあふれる放置自転車につきましては、建設局においてこれまでに、夜間撤去の強化や該当する箇所にバリケード等を設置いただいたものであり、今後においても放置自転車の撤去や定期的な台数調査、さらには周辺駐輪場への案内誘導の表示を行っていただけることに対し、地元としては大いに期待しております。しかし、地元といたしましても、ミナミで働く従業員や来訪者に対して駐輪マナーを啓発するなど、できる限りの取り組みを行ってまいります。大阪市においても引き続き、地元との緊密な意見交換や情報交換を通じ、官民の知恵で放置自転車問題の現状の打破に取り組んでいけるよう、よろしくお願いいたします。

大阪を訪れる外国人旅行者数は、令和元年には過去最高となる1,230万人を数えましたが、令和2年2月以降、新型コロナウイルスの拡大により、多くの国において海外渡航制限や外出禁止等の措置が取られたこと等により大幅に減少しました。しかしながら、昨年10月より個人旅行の受け入れやビザ免除措置の再開等の実施を受け、外国人旅行者が戻りつつあります。かつては、外国人旅行者の多くがミナミを訪れるなど、ミナミはまさに日本の玄関口となっており、インバウンド人気を牽引しておりました。コロナの終息と共に、いかに以前の状態を取り戻すのか課題はありますが、2025年に開催される大阪・関西万博やIR誘致により、ミナミの街にも訪日観光客が戻ってくると思われれます。

そういった観点からも、「なんば駅前の広場化」は、世界を惹きつける観光拠点

の整備として絶対にやり遂げなければならないと思っておりますし、ミナミだけでなく、大阪・関西の活性化のためにも重要な取り組みであると考えております。

現在、「なんば駅前の広場化」の実現に向けて、昨年11月より本格的な整備工事に着手していただいております、2023年秋には広場部分の暫定的な供用が開始される予定で、2025年にはなんさん通りを含めた完成にむけて、なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会と協働し維持管理ならびに利活用の試みの準備が始まっているとお聞きし、大いに期待しております。なんば駅前広場が大阪の新しいシンボルにふさわしい、歩行者優先で上質なグレード感を持った広場となるよう、安全かつ円滑な工事の進捗をお願いしたいと思います。

また、完成した広場においては、地域の魅力創出や活性化に向けて、地域の方々にも活用していただくとともに、広場の持続的かつ効果的な運営の実現に向けて、官民連携により、引き続きここにお集まりの皆様のご協力とご支援をお願いします。

大阪のメインストリートである御堂筋の活性化につきましては、平成31年3月に策定した「御堂筋将来ビジョン」に基づき、千日前通から道頓堀川区間の側道歩行者空間化の整備は終了し、現在は、道頓堀川から長堀通区間の整備をいただいているところでございます。整備にあたっては、地元では協議会を組織され、建設局や大阪メトロと協議を重ね積極的な提案を行うとともに、昨年は「御堂筋チャレンジ2022」等の社会実験を実施するなど空間活用の実験を積み重ねておられます。さらに、この空間再編を機に、御堂筋の東側の商店街では環境改善と活性化を一体にはかるための意見交換と新たな試みも始まっているとお聞きしています。

また、戎橋から太左衛門橋までのとんぼりリバーウォークは、完成以来18年目になりますが、官民一体となった取り組みや管理運営を委託されている南海電鉄の努力もあり、多くの観光客が水辺を歩き、川沿いへの店やイベントも増えました。今後、観光客が戻り、歩行者が輻輳する状況が見込まれる中、御堂筋の空間整備が進めば、なんさん通りからなんば駅前、御堂筋、さらには道頓堀川までの一帯における人中心の空間が生まれ、ミナミに歩きやすく安全で楽しい憩いの空間が構築されることによって、大阪全体の観光の振興に貢献できるものと思います。

世界基準で見ますと、歩行者優先、歩行者空間という視点にたって整備されているかどうか、その都市の価値を決めると言われています。「車優先ではなく人優先」の空間整備に向け、世界を惹きつける観光拠点として整備を進めるなんば駅前広場と、大阪市のメインストリートである御堂筋の歩行者空間の再編が、大阪の価値を上げることは間違いありません。そして、これら公共空間と一体に「風情あるミナミのまち」へと人々の回遊・滞在を生み出していく段階にきています。その一方で、公共空間から逃れるように放置自転車や路上喫煙などが商店街の環境を阻害している現状があります。また、道路上を活用した商店街独自の試みも模索がされ

ています。ミナミ活性化協議会がスタートして大阪では官民が先駆的な取組みを進め大きな成果をあげてきましたが、もう一段きめ細かで思い切った取組みが必要になっているのではないのでしょうか。その実現のためには、地元の熱意だけでは困難であり、行政、関係機関のお力添えが必要です。行政におかれましては、より一層リーダーシップを取っていただき、事業化に向けての予算化や運用面での思い切った措置を、スピード感をもって取り組んでいただく必要があるのではないのでしょうか。関係機関におかれましては、それぞれでお持ちのノウハウをご提供していただき、前例にとらわれず官民で知恵を出し合い、環境整備や支援、規制緩和、制度やしくみの創設といった積極的なご協力をお願いしたいと思います。安全であり、かつ景観や活用面からもすぐれた歩行者空間を生み出し周辺への回遊を起す知恵が現在は求められていると思います。これまで以上に、お互いにビジョンを共有し、「なんば駅前広場」をはじめとした事業を、スピード感をもって取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進していきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府副知事

このミナミ活性化協議会ですが、先ほどもご紹介ございましたように、今年で18年目を迎えますが、少し個人的なことを申し上げますと、ちょうど10年前に当時、市の副市長として、参加させていただきました。その時は、ひたくり等の街頭犯罪、放置自転車対策、宗右衛門町の電線の地中化等の道路整備、これにつきまして、ご報告させていただきましたけれども、これらは現在、ずいぶんと改善され、また整備されております。これも、岡本会長、福長発起人をはじめ、地元の皆様、また関係者の皆様の一丸となった取組みの成果であります。改めて感謝申し上げます。ただ、言うことなく継続してしっかりと取り組んでいただいておりますが、新たな課題への対応もごございます。これらにつきましては、府の取組みに關しまして、三点ご報告させていただきます。

まず、一つ目ですが、にぎわいづくりでござひます。昨年、長引くコロナの影響に加えまして、原油や原材料の価格高騰などで、事業者の皆様には大変厳しい状況が続いた一年でございました。その一方で、コロナにかかる行動制限の緩和なり、また、経済回復に向けた動きも見られました。府では昨年、ポータルサイト「ええやん大阪商店街」を開設しまして、商店街の店舗の魅力発信や、デジタル化サポートなどを進めております。

また、今年1月からはいらっしやいキャンペーンを再開しております。未だ、コロナとの闘いは続いておりますが、感染症対策と社会経済活動の維持の両立に向け

まして、国や大阪市と連携して、取り組んでまいります。

二つ目は、魅力向上のまちづくりでございます。先ほど申し上げました、宗右衛門町地区に続きまして、後ほど、朝川副市長からもご報告あると思いますが、御堂筋の歩行者空間の拡大や、なんば駅前広場の整備が、大阪市によって進められております。この、まちづくりに関して申し上げますと、大阪全体のまちづくりの方向性を示しますグランドデザインを、府と市が協力して作成しまして、去年の暮れに発表いたしました。

そこではミナミを、大阪・関西の成長・発展をけん引する拠点エリア、また、大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点につきまして、楽しい歩行者空間の創出や、サービス性の向上、また、なにわ筋線整備をインパクトとし、それを活かしたまちづくりの促進など、様々な取組みを実施しております。府としましても、広域的な観点から、課題、活動につきましては市と連携して取り組んでまいります。

三つ目は、「安全・安心」の確保であり、ある意味、最も基本的な課題だと思っております。先に申し上げました、にぎわいづくりや、魅力向上のまちづくりも、安全・安心の確保が大前提となります。これまでも、地元の皆様には、夜間パトロールや、放置自転車対策、また、悪質な客引き対策等を実施していただいております。大変心強い限りでございます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

大阪府としましても、青色防犯パトロール車を活用した、客引き対策、置引き被害防止などの広報啓発活動のほか、青少年健全育成条例に基づいた、インターネットカフェやカラオケボックスなどの夜間営業施設への立入調査を継続し、ミナミ歓楽街の環境浄化を図ってまいります。

2025年、大阪・関西万博の開催まであと2年余りとなりました。万博開催時には、国内外から多くの旅行者・観光客がミナミを訪れることが予想されております。これは、ミナミの活性化、大阪の成長・飛躍にも大変、絶好の機会でございます。大阪府としましても、今後も感染症対策に配慮しながら、多様な都市魅力の創出と、安全・安心なまちづくりに向けて取り組みまして、「ええまちミナミ」の実現に向けて、しっかりと取り組んでまいります。引き続き、皆様方のご理解・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪市副市長

ミナミは大阪のにぎわいの中心でございます。このミナミの活性化がこれからの大阪の成長発展にとって欠かせない非常に重要なことと認識しておりますので、本日お集まりの皆様方、これからも力を合わせて更なる活性化の取組みに努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。それでは大阪市の取組みにつきましてご説明申し上げます。

初めに、客引き行為等適正化対策につきましては、先ほどもお話がございました

が、2014年、平成26年の市条例の施行以降、2017年からはミナミ地区を集中的に巡回指導する指導員の増員条例改正による店舗や法人への対策強化を行い、2021年、令和3年4月からは、常習違反者に対して、より短いサイクルで過料処分ができるよう条例を一部改正いたしております。このような取組みにより客引き行為は条例施行前から一定減少してきてはおりますが、しつこくつきまとう悪質な客引きが横行している事例もいまだございます。こうした客引き行為者に対しては、違反店舗を特定するための追跡調査や悪質な客引き行為の多い箇所への指導員の集中配置を行ったり、逮捕権限のある警察と連携、情報共有を図るなどして、厳正に対処いたしております。今後とも、客引き行為の実態に即して、巡回指導の運用を改善していくとともに、指導や取締りを強化するため、幅広く検討してまいります。

また、大阪府警察とのさらなる連携といたしまして、昨年5月と6月、そして11月には合同パトロールを行い、違法な客引きに対して指導等を行いました。大阪府警察のご協力に厚く御礼申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

客引き行為の適正化に向けましては、客引き行為への指導のほか、ミナミ全体として客引き行為が禁止されているという機運の盛り上げや環境づくりを進めることも重要であると考えております。そこで地元の事業者様、南警察署などにもご協力をいただき、街頭ビジョンで客引きを利用しないよう呼びかける動画の放映や、商店街での客引き防止のアナウンスの放送、商店街への啓発ポスターなどの広報啓発も進めております。また、2021年4月からは来訪者に対して、客引きを利用しないよう呼びかける客引き啓発員の運用も始めております。このような活動を通じて、来訪者に客引きが禁止されていることを知っていただくことができるよう、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。悪質な客引き行為は絶対に許さないという強い決意のもと、皆様方と一層連携し、取り組んで参りますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。

次に、魅力とにぎわいの溢れるまちの実現についてご説明申し上げます。

まず訪日観光客の現状につきまして、皆様ご承知の通り、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ミナミをはじめ、大阪を訪れる外国人旅行者は、大幅に減少いたしました。昨年10月より入国制限が緩和されたことにより、回復傾向にございます。ポストコロナを見据え、受け入れ体制を整えてまいります。

次になんば駅前の広場化でございます。なんば駅前を含むミナミエリアは大阪の玄関口であり、このミナミの活性化が大阪ひいては関西の活性化に繋がるものでございます。この間、地域の皆様と大阪市が連携し、世界を惹きつける観光拠点の整備として、歩行者空間の安全性に配慮しながら、上質で居心地のよい空間の創出を図る「なんば駅前の広場化」の実現に向けた取組みを進め、昨年11月より本格的な整備工事に着手しているところでございます。今後、本年秋の駅前広場部分の先

行完成、2025年に開催される大阪関西万博までの全体完成に向けて、世界を惹きつける観光拠点として、大阪を代表する都市の空間となるよう、人中心の空間への再編を着実に進めて参ります。また、地域の魅力創出や活性化に繋がるよう、官民一体となった持続可能な広場の運営スキームの構築に向けても、協議・調整を進めておりますので、地元の方々におかれましても引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

次に御堂筋の活性化につきましては、2018年7月に御堂筋完成80周年記念事業推進委員会として取りまとめた将来ビジョンに地元地域や関係機関の皆様と意見交換しながら事業を展開していくというプロセスを盛り込んだ、市としての将来ビジョンを2019年に策定いたしました。この将来ビジョンの実現に向けたファーストステップとして着手いたしました千日前通りから道頓堀川区間の側道歩行者空間化の整備が終了し、現在は道頓堀川から長堀通区間の側道の整備を行っております。また、側道歩行者空間化により広がった歩行者空間の利活用につきましても、具体的な利活用の内容やその仕組み、必要な制度などに関し、地域の方々と意見交換を進めております。

放置自転車問題につきましては、私といたしましても重要な課題と認識しております。大阪市としても、放置自転車が集中する箇所について、バリケード等を設置するとともに、放置自転車の撤去、周辺駐輪場への案内誘導の表示、及び啓発活動を実施するなどしておりますが、ミナミには地域で働く従業員や来訪者の自転車が多く、放置自転車対策には、地域の引き続きのご協力が必要不可欠でございます。

今後とも、地元の皆様と連携して、自転車利用者に対する指導・啓発活動を実施いたしますとともに、大阪市としましても、引き続き放置自転車対策に取り組んで参りますので、ご協力よろしくようお願い申し上げます。

このような取組みを通じて、公民の連携を一層強め、なんば駅前の広場から御堂筋、さらに道頓堀川の水辺空間まで回遊できる、連続した、人中心の魅力ある空間を目指すことができれば、ミナミエリアの魅力の向上やにぎわいの創出に大いに寄与するものと考えてございます。

今後、万博開催を契機として、世界に誇れる魅力ある都市づくり、大阪の更なる成長に向け、しっかりと取り組んで参ります。本市といたしまして、今後とも皆様方との連携をさらに深めながら、誰もが安心して訪れることができるこの「ええ街ミナミ」が一層すばらしいまちとなりますよう、取組みを進めて参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府警察本部長

本日、私からは、大阪府警によります昨年の主な取組みと今後の方針につきまして、ご紹介を申し上げます。

初めに、昨年の主な取組みについてでございます。

大阪府警では、ミナミ地区における取組といたしまして、客引き等の迷惑行為や違法風俗店等の風俗関係事犯の取締り、暴力団等の組織犯罪対策、飲酒運転等の交通対策など、歓楽街の治安の改善と風俗環境の浄化に向けた諸対策を推進してまいりました。まず、ミナミ地区を管轄いたします南警察署管内における刑法犯認知件数につきましては、皆様方のご協力もございまして、ミナミ活性化協議会が設立された平成 17 年当時と比べますと、半分以下にまで大幅に減少させることができました。

次に、風俗関係事犯の取締りについてであります。客引き等の問題につきましては、地元の方々から多くの苦情や取締要望が寄せられておりました、ガールズバーや深夜マッサージなどの客引きに対する取締りができるよう、客引き等を規制する迷惑防止条例を改正いたしました。そして、その周知活動や改正条例を適用した取締りを実施した結果、ミナミ地区における客引き等が減少し、地元の皆様方からも「歩きやすくなった」とのご意見をいただくなど、街の環境浄化に大きな効果があったものと認識をしております。

また、客引き等の排除に向けた取組といたしまして、大阪市と連携した「客引き行為等適正化指導員」との合同パトロールや地元商店街の皆様方と連携いたしました合同パトロール、各種会合を通じた啓発活動などを推進いたしました。加えて、客引きをアルバイト感覚で行う学生も少なくないことから、直接大学に赴いて、安易に客引き等をしないよう、訴えかけを行ってまいりました。

違法風俗店等の取締りににつきましては、一般世帯用マンション内で性的サービスを提供していたメンズエステ店や、雑居ビルの一室を使用して行われていた賭博店などを摘発しております。これら違法風俗店等は、その収益の一部が、暴力団等の犯罪組織に流れていることがわかりますことから、背後関係や資金源にも踏み込んだ取締りを推進しております。さらに、違法風俗店等の摘発の後には、同種の店舗を再入居させないために、ビルオーナーさん等に対しまして、店内の間仕切りやカーテン、ベッドなどの設備を解体撤去する、いわゆるスケルトン化への働きかけを行うなど、風俗環境の浄化に向けた基盤づくりにも取り組んでまいりました。

次に、暴力団等の組織犯罪対策についてでございますが、暴力団抗争につきましては、六代目山口組と神戸山口組に対する 12 回目となります特定抗争指定暴力団指定の更新がなされたことに伴い、引き続き、大阪市を警戒区域に指定し、両団体の活動を大幅に制限するなどしております。その成果がございまして、暴力団組織数につきましては、平成 17 年当時と比べまして、大阪府下、ミナミ地区ともに減少いたしております。

また外国人犯罪につきましては、ベトナム人が経営し、犯罪の温床となっていたクラブ等に対する捜査を進め、経営者らを不法就労助長罪等で逮捕いたしております。

す。

次に交通対策についてでございますが、飲酒運転等の悪質な交通違反の取締りに加え、運転の簡便さ等から、近年急速に普及している電動キックボードやペダル式電動機自転車などの「電動モビリティ」に対する取締りを強化いたしまして、昨年10月には、電動キックボード等に対する飲酒運転の取締り等を実施し、反則切符による告知などを行ったところであります。

そのほか、家出少年等の溜まり場となっております「グリ下」での一斉補導を実施し、保護が必要な少年に対しては、児童相談所と連携した対策を講じるなど、補導活動も強化いたしました。

次に今後の取組方針につきまして申し上げます。

最近のミナミ地区の治安情勢といたしましては、皆様と協働した継続的な歓楽街対策を実施してまいりました結果、本協議会が設立されました平成17年当時と比べますと、風俗環境や治安情勢は一定の改善が見られるところではありますが、客引き等の迷惑行為や潜在化する違法風俗店等が存在し、これらに暴力団等の犯罪組織が関与し、その収益を資金源とするなど、風俗関係事犯や組織犯罪等は後を絶たない状況にあります。また刑法犯認知件数につきましても、残念ながら昨年は、一昨年に比べ約800件増加するなど、引き続き対策が必要な状況でございます。

したがいまして、客引き等に対しましては、改正条例を効果的に運用しつつ、南警察署による継続的な取締りに加え、府下の捜査員を投入した「客引き一斉取締り」を実施するなど、組織的な取締りを推進いたしますとともに、違法風俗店等につきましては、実態の把握に努め、厳正な取締りを今後とも実施してまいります。

また、府民の皆様には大きな不安と脅威を与えている暴力団につきましても、対立抗争の封圧に向けた取締りと情報収集活動を強化するとともに、暴力団対策法や大阪府暴力団排除条例等の運用をより一層強力に推進するほか、暴力団との関係を深めつつ、多様な資金獲得犯罪を敢行する、いわゆる「半グレ」等と呼ばれる集団に対しましても、情報収集に努め、大阪府警一丸となって、先制的かつ効果的な取締り及び資金源剥奪に向けた捜査を推進するなどして、これら犯罪組織の弱体化、壊滅を図ってまいります。

以上、ご説明申し上げましたが、最後になりますけれども、2025年の大阪関西万博の開催、さらにはIR誘致等により、今後、ミナミの街にはさらに多くの方々が訪れるものと考えられます。大阪府警察といたしましては、誰もが安全・安心して、ミナミの街を楽しんでいただけるよう、皆様との連携を緊密にいたしまして、客引き等への対策をはじめ、各種犯罪の抑止、検挙対策に力を注ぎ、街の環境浄化に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪商工会議所会頭

皆様から、これまでの取組成果と課題をお伺いし、今のミナミの賑わいは、一朝一夕にできたものではないことを、改めて認識いたしました。

私から大阪商工会議所の取組みについて、5点ほど申し上げます。

まず、第一点でございますが、安心して安全なまちの実現は、日々のたゆまぬ取組みが欠かせません。岡本会長、福長発起人をはじめ、地元の皆様の地道な取組み、そして、田中副知事、朝川副市長、野村府警本部長をはじめとする、関係者の皆様のご支援に、心から感謝と御礼を申し上げます。

第2点目でございます。私個人的な話ですが、以前、海外、特にヨーロッパからお客様が来られますと、必ず、ミナミ、道頓堀、法善寺、水掛地蔵をご案内していました。どなたも、大阪・ミナミの魅力に感動し、喜んでおられました。ミナミは大阪の都市魅力が凝縮しています。食、エンターテイメント、商店街、道頓堀川、ネオンなど、大阪を象徴する賑わいが、すべて揃っています。そこにミナミの歴史文化がございますが、外国人の方にとっても、日本人にとっても、魅力がいっぱいでございます。

第3点目は、ミナミの歴史文化でございます。近松門左衛門や竹本義太夫など現在まで、大阪・ミナミが日本の文化の発祥であり、かつ演劇を作り上げてきた一連文化の街であったと思います。歴史文化の力というものは、偉大なもので、第二次世界大戦の戦災、1990年のバブル経済の崩壊、そして今のコロナをくぐり抜けて、衰えない力でございます。漂う街の雰囲気、におい、街のパワーを十分感じるところでございます。

第4点目は、この秋に完成するなんば駅前広場でございます。今後のなんば駅前広場の活用につきましては、大阪の街の中心において、様々なフェスティバルを行っていく、「まちなかフェス」などが考えられます。今後は、大阪府・市様、南海電鉄様、町内会の皆様や企業の方々と、公民協働が欠かせないと思います。そこで昨年11月、なんば駅前広場の「道頓堀リバーフェスティバル」に私も参加しましたが、大阪のパワーの源泉は、やはりミナミにあると改めて実感しました。このようなフェスティバルを実施していくためには、まちづくり団体がノウハウを蓄積していくということが重要でございます。行政の皆様には、公民協働のまちづくりに向けて、引き続き、駅前広場の管理・運営に、ご支援いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

第5点目でございますが、大阪の南部、堺、和泉、泉大津、高石、貝塚、松原、岸和田、泉佐野、そして和歌山に至る南部エリアの活性化についてでございます。大阪商工会議所は、このミナミエリアを起点にして、泉州と南河内を含む地域を「グレーターミナミ」と位置づけています。この地域には、関西空港、岸和田のだんじり、泉州の水ナスなどがございます。「グレーターミナミ」の玄関口、ゲートウェイ

であるのが大阪・ミナミです。グレーターミナミエリア全体にも賑わいを波及させ、活性化につなげていけるよう、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、大阪商工会議所は、2025年の大阪・関西万博に向けて今後とも地元の皆様と、ミナミの発展に寄与してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○ 関西経済同友会代表幹事

最近、ミナミの街を歩かせていただいて気付くことは、海外からのお客様も増え、人出やまちの賑わいが戻ってきたと感じています。ひとえに、大阪府市、警察、地元の方々など、ミナミを愛する多くの皆様の不断の努力のおかげで、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」の推進が確実に進んでいるものと思います。あらためて心より感謝申し上げますと共に、ミナミが更に魅力ある街として発展することを期待しています。

ミナミ活性化協議会がスタートした平成17年に、関西経済同友会は「大阪・ミナミの浄化と活性化に向けて」の提言を出させていただきました。その中で、自治体、関係諸機関、地元、市民、経済団体、大阪・ミナミの浄化と活性化という共通の目標に向けて、異なる役割を担いながら協働し、オール大阪の取組みとして、大阪を愛し、誇りとすることができれば、大阪の元気と再生にとって大きな力になることは間違いないという風に述べさせていただきました。

私からは、大阪を愛し、誇りとすることとして、アフターコロナに向けた、ミナミのブランドイメージの向上の観点で少しお話させていただきます。

ミナミは歴史的にみて、魅力ある文化発信のエリアであったと思います。一方で、伝統ある文化だけでなく、若者や外国人の視点に立ったイベントづくりなど、住民・市民が主体となった賑わいづくりも期待できます。関西経済同友会でも、文化発信の視点で大阪・関西の魅力を高めるための施策の調査研究を進めさせていただき、大阪まちづくり、文化芸術、食文化などの委員会活動を通じて行っています。昨年も文楽や大阪のだし文化などを体験させていただきました。これらは大阪の貴重な財産だと思います。引き続き、大阪が文化的に魅力のある街としてブランド向上に貢献できるように、私ども同友会としても継続して取り組んでいきたいと考えます。

さて、2年後の2025年には、大阪・関西万博が開催されます。「なんば駅前広場」が本格化されるなど、準備は進められていますが、大阪が日本の玄関口、国際都市として真に評価されることとなります。海外や全国各地からお越しになるお客様にとって、ミナミが安全・安心な街であることは当然ですが、自慢できる、上質なおもてなしのできる街になる必要があると考えています。

そのためには、グローバルな視点から大阪・ミナミがどのように見えているかを知る必要があると思います。駐日外国公館や海外の有識者の意見を素直に聞いて、

海外から見てさらに魅力あるまちにしていくことと、併せて大阪・ミナミの魅力をグローバルに戦略的に発信をしていく必要があると考えています。同友会では、大阪・関西 EXPO や海外交流などの委員会を通じて、経済界として貢献できることの研究や実践などの取組みもしています。

私が子供の頃、大阪で育ちましたが、家族とミナミにお出かけする時には、良いお洋服や良い靴を履かせていただいて、ワクワクする時間をこのミナミの街で過ごさせていただいたことをよく覚えています。私にとってミナミは本当に心からワクワクし高級感のあふれる街で最高の場所であったと記憶しています。ミナミのブランドイメージがさらに向上し、訪問者にとって多くの価値や高級感あるおもてなしが期待できる街になることが、大阪・関西経済の持続的な発展のカギになると思っています。

最後に、皆様方と協働させていただきながら、一緒に大阪・ミナミを更に魅力ある街、「ええ街ミナミ」にすることを目指していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

○ ミナミ環境浄化推進協議会発起人

平素は、ミナミの歓楽街環境浄化、地域の活性化のために、皆様の活発な活動に、心から感謝しているところでございます。

客引きの問題については、大阪市と大阪府警察が中心となって、条例を改正しての指導、取締りや合同パトロールなど、様々な取組みを行っていただき、客引きの数が減るなど、大きな成果が出ていると感じているところです。

そのほか、暴力団や「半グレ」と呼ばれる犯罪集団に対する取締りを強化していただき、地元として、心強く感じており、大変感謝しています。引き続き、環境浄化に向けた取組み、取締りの強化をお願いします。

ここで改めて、私から大阪市に要望があります。

私は、ミナミの街を「世界一、安全・安心なまち」にして、世界の「モデル地区」にしたいと考えております。そのためには、悪質・巧妙化する客引きの排除に向けて「客引き指導員の増員」が必要だと考えております。最近では10人、15人とたむろする客引きに対して、指導員は2、3人で注意しなければならない現状があります。大阪府警と合同パトロールを実施するなど、対策はとっていただいておりますが、客引きは指導員に食ってかかるなど、威圧的な態度をとることが日常茶飯事で、現在の体制では多勢に無勢と感じています。この現状を打開すべく、まず指導員を増員していただき、客引きに臆することなく指導等を行うことが、客引きに対する抑止力につながり、安全で安心なミナミになっていくと強く信じております。

今後、大阪・関西万博開催、さらにはIRの誘致などにより、再びミナミが世界的にも注目され、多くの方々が訪れるようになります。未来永劫、ミナミが繁栄し

ていくには、「ミナミに来てよかった」、「もう一度行きたい」と思ってもらうことが大切で、そのためにもミナミのまちを安心して訪問し、安全に楽しめることが必要です。まだまだ課題は多いですが、今後も「みんなでつくろう ええ街ミナミ」をスローガンに掲げ、行政、警察、各団体と連携をしながら、頑張っていきたいと思います。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第 18 回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント等

代表者会議終了後、同所において啓発イベントを行い、大阪府警察音楽隊の演奏の後、決意表明（シュプレヒコール）を実施した。

第18回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向けて多くの対策を推進してきた。

その結果、ミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなった。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも尽力してきた結果、ミナミの街は少しずつ活気を取り戻しているが、さらに感染症に強いまち、世界に誇れる安全・安心かつ明るく楽しい活気あふれるミナミの街を一層実現させていくとともに、2025年大阪・関西万博に向けて、世界中から注目が集まり、再び多くの来訪者・観光客が見込まれる中、ミナミを訪れる全ての人々が「ミナミに来てよかった」と思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、総意・総力で次の2点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

一、 『安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締りの強化に加えて、客引きを利用しないための来訪者への広報啓発などの対策や、各種犯罪対策、放置自転車対策を推進するとともに、違法店舗の排除や客引きを活用する店舗の根絶など、ビルの健全化に向けた対策を継続するなど、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ明るく快適に楽しめる人気の高いまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

大阪・関西万博を見据えて、人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力に誇りをもち、地元へ愛され、更には世界から注目され続ける持続可能な観光地作りとおもてなしを改めて充実させるとともに、ミナミの新たなシンボルとして、人中心の居心地良く安心感にあふれた「なんば駅前広場」「御堂筋の歩行者空間」を創出するため、地元・行政・経済界が一体となり、世界を惹きつける魅力とにぎわいあふれるまちづくりを推進する。

令和5年1月30日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	松井 一郎
大阪府警察本部長	野村 護
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所会頭	鳥井 信吾
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	生駒 京子

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク

公益社団法人関西経済連合会

公益財団法人大阪観光局